



オンラインでもアンケートのご回答が可能です。
左記QRコードよりご利用ください。



TOKYO SOCIAL DESIGN with TAKUYA SASAKI

一人ひとりの力を活かしたソーシャルファームの中で協働している佐々木卓也さんと一緒に
チラシ、ポスター、プログラムを製作しました。

【宮崎県立芸術劇場 開館30周年記念プログラム】

1993年に開館し、長期休館中の2023年に30周年を迎えた宮崎県立芸術劇場。
再び幕を開けた今年、これまで支えてくださった皆さまへの感謝を込めて、
30周年を記念した特別プログラムをお届けします。

主催：宮崎県／公益財団法人宮崎県立芸術劇場
協力・企画制作：東京文化会館（公益財団法人 東京都歴史文化財団）

宮崎県立芸術劇場 開館30周年記念プログラム

Relaxed Performance

リラックス・パフォーマンス

みやざきこうえん

宮崎公演

せだい しょう たの
世代、障がいをこえて楽しめるコンサート

（令和7年）
2025.9.28（日）14:00～15:00 休憩はありません

メディアキット県民文化センター 演劇ホール

（みやざきけんりつげいじゆつげきじょう）
（宮崎県立芸術劇場）



リラックス・パフォーマンス宮崎公演へようこそ！

リラックス・パフォーマンスの「リラックス relaxed」は
“寛容な”という意味。

少し音をたてても、身体が動いても、大丈夫。
障がいがある方、小さいお子様がご一緒の方など、
劇場での音楽鑑賞に不安がある方も
安心して一緒に音楽を楽しめるように、
様々な工夫をしています。

たとえば…



客席の照明を完全に暗くしません。



上演中に休憩が必要になった場合は、
客席の外に出て休憩できます。
途中で席に戻ることもできます。



席に戻りづらい場合や一時的に席を
移動したい場合などにお座りいただける
「フリーエリア」があります。



手話通訳があります。



ヒアリングループがあります。



字幕タブレットを貸し出します。



客席の中では食
べたり飲んだり
できません。



携帯電話やアラ
ーム付き腕時計
などは電源を切り
ましょう。



公演の写真撮影、
録音、録画はでき
ません。

- お客様へのお願い
- 大きな声での会話や演奏者への声援はお控えください。
 - 音楽が気に入ったら、演奏が終わったときに大きな拍手をお願いします！

プログラム

チャイコフスキー(ラフマニノフ編曲)：組曲『眠れる森の美女』Op.66aより
第5曲 ワルツ

ブラームス：ハンガリー舞曲第5番

フォーレ：組曲『ドリー』Op.56より 第3曲「ドリーの庭」

ホルスト：組曲『惑星』Op.32より 第4曲「木星(ジュピター)」

J.S.バッハ：カンタータ『わが楽しみは、元気な狩のみ』BWV208より
第9曲 アリア「羊は安らかに草を食み」

ミヨー：組曲『スカラムーシュ』より 第3楽章「ブラジルの女」

モーツァルト：2台ピアノのためのソナタ ニ長調 K448より 第3楽章 アレグロ・モルト

サン=サーンス：組曲『動物の謝肉祭』より 第14曲 フィナーレ

出演

ピアノ：今田 篤 (第11回東京音楽コンクールピアノ部門第2位)

西村翔太郎 (第14回東京音楽コンクールピアノ部門第2位及び聴衆賞)

フルート：多久和怜子 (第11回東京音楽コンクール木管部門第2位)

ホルン：葛西亮 (第20回東京音楽コンクール金管部門入選)

ナビゲーター：伊原小百合 (東京文化会館ワークショップ・リーダー)

サインポエム：Yumiko Mary Kawai (ろう俳優)

手話通訳：社会福祉法人宮崎県聴覚障害者協会

1 チャイコフスキー(ラフマニノフ編曲)：組曲『眠れる森の美女』Op.66aより 第5曲 ワルツ

バレエ音楽の名手、チャイコフスキーの代表作をピアノ連弾用に編曲したもの。デジレ王子の口づけで100年の眠りから目覚めたオーロラ姫たち。華やかな王宮や結婚式の様子、バレエの踊りを想像しながら聴いてみよう。

〈2台ピアノ〉



2 ブ람ス：ハンガリー舞曲第5番

ドイツ演奏旅行中、ブ람スはハンガリーのロマ(移動しながら生活する民族)の音楽に出会った。のちに舞曲集(全21曲)として発表されると、またたく間に当時話題の作品となる。オーケストラ版も有名。

〈2台ピアノ〉



3 フォーレ：組曲『ドリー』Op.56より 第3曲「ドリーの庭」

フランスの作曲家、フォーレは友人の娘(愛称ドリー)のために6つの連弾曲を作った。「ドリーの庭」はドリーが3歳になる年に贈られた。穏やかな曲調で、移り変わるメロディと転調(曲の途中で調を変えること)が特徴的。

〈2台ピアノ〉

4 ホルスト：組曲『惑星』Op.32より 第4曲「木星(ジュピター)」

オルガニストや合唱指揮者としても活躍したイギリスの作曲家ホルスト。占星術に関心があり、惑星の一つずつに副タイトルをつけた。「Jollity(陽気さ)をもたらす者」と表された「木星」の中間部の堂々としたメロディはとりわけ有名。

〈2台ピアノ〉



5 J.S.バッハ：カンタータ『わが楽しみは、元気な狩のみ』BWV208より 第9曲 アリア「羊は安らかに草を食み」

バッハがザクセン侯の誕生日を祝って書いたカンタータ。バッハは、このアリアで羊飼いを領主、羊を民衆に例えて「良い羊飼いのもとでは羊は安らかに草を食せる」と侯を讃えた。今日はホルン、フルート、ピアノのアンサンブルで演奏する。

〈2台ピアノ、フルート、ホルン〉



6 ミヨー：組曲『スカラムーシュ』より 第3楽章「ブラジルの女」

フランス生まれのミヨーが作曲し、1937年パリ万国博覧会で初演された。「ブラジルの女」はタイトルに「サンバのリズムで」と書き添えられている。ブラジル音楽やジャズに影響を受けたミヨーらしいポリリズムや多調(いくつかの調を重ねる)の技法がふんだんに使われている。

〈2台ピアノ、フルート、ホルン〉



7 モーツァルト：2台ピアノのためのソナタ ニ長調 K448より 第3楽章 アレグロ・モルト

35年の生涯で620以上作曲したモーツァルトが唯一完成させた2台ピアノのためのソナタ。第3楽章は軽やかなロンド形式(同じテーマが繰り返される)で、2人のピアニストの確かな技巧と息のあった演奏が求められる。

〈2台ピアノ〉



8 サン=サーンス：組曲『動物の謝肉祭』より 第14曲 フィナーレ

クラシック音楽のなかでとても有名なパロディ音楽。フランス人のサン=サーンスのユーモアと皮肉が詰まっている。「フィナーレ」は野生のラバやカンガルーなど様々な動物のメロディが登場するにぎやかな1曲。

〈2台ピアノ、フルート、ホルン〉



プロフィール



いまだ あつし
ピアノ：今田 篤

2018年第10回浜松国際ピアノコンクール第4位及び2016年世界三大コンクールの一つであるエリザベート王妃国際音楽コンクール(ベルギー・ブリュッセル)にてファイナリスト入賞。これまでにマリン・オールソップ指揮ベルギー国立管弦楽団等海外及び国内のオーケストラと多数共演。ソロリサイタルを日本国内及びフランス、ベルギー、ドイツ、ブラジル、アゼルバイジャン、英国にて行う他室内楽奏者としても活動している。2021年ファーストCDをリリースし好評を博す。現在東京藝術大学音楽学部ピアノ科、名古屋音楽大学非常勤講師。



©Studio La Vue

にしむら しょうたろう
ピアノ：西村翔太郎

秋田県生まれ。東京藝術大学および大学院を首席で卒業・修了。その後渡欧し、イモラ国際ピアノアカデミー(イタリア)を修了。「感情的かつ緻密さを兼ね備えた音楽家」と称され、多岐の分野にわたり好評を博す。第14回東京音楽コンクールピアノ部門第2位及び聴衆賞、第7回Euregio Piano Award(ドイツ)第2位ほか、国内外のコンクールで入賞。日本各地、イタリア、ドイツ、フランス、スペインなどで開催された演奏会や音楽祭に出演する。現在は演奏活動の傍ら、東京藝術大学、桐朋学園大学、埼玉県立大宮光陵高等学校、桐朋女子高等学校音楽科[男女共学]にて後進の指導に当たる。



©鈴木権蔵

いはら さ ゆ り
ナビゲーター：伊原小百合

東京藝術大学音楽学部楽理科卒業、同大学院修士及び博士課程(音楽教育)修了。乳幼児期の音楽教育学を専門とし、子どもたちが音や楽器とより面白く出会う方法を追求している。主な著書に『探索して音に出会う』(2021年、みらい)、『わたしたちに音楽がある理由』(今川恭子編、2020年、音楽之友社)等がある。保育士資格と中学校・高等学校教員免許(音楽)をもつ。東京文化会館ワークショップ・リーダーとして、ろう児・難聴児を対象としたミュージック・ワークショップ「不思議なミュージアム」の創作も手掛ける。現在、玉川大学教育学部乳幼児発達学科専任講師として保育者・教員養成にあたる。



た く わ れ い こ
フルート：多久和怜子

埼玉県出身。上野学園大学演奏家コース卒業。桐朋学園大学研究科修了。第11回東京音楽コンクール木管部門第2位。第82回日本音楽コンクール第2位。第29回日本管打楽器コンクール第3位、その他入賞。東京文化会館主催モーニングコンサート、まちなかコンサート、はじめましてクラシック、NHK-FM「リサイタル・パッショ」、2020年東京オペラシティ文化財団主催「B→C」リサイタルシリーズに出演。現在、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団首席フルート奏者を務める他、東邦音楽大学、上野学園中学校・高等学校の非常勤講師として後進の指導にもあたっている。Theater Orchestra Tokyoメンバー。



か さい りょう
ホルン：葛西 亮

神奈川県横浜市出身。昭和音楽大学を優秀賞を受賞し卒業。桐朋学園大学音楽研究科修了。ホルンを根岸伊知郎、上原宏、中島大之の各氏に師事。室内楽を樋口哲生、太田茂、在原豊の各氏に師事。昭和音楽大学吹奏楽団定期演奏会にてソリストとして共演。若手演奏家のためのホルンコンクール2019第一位、オーディエンス賞。第20回東京音楽コンクール金管部門入選。テアトロ・ジーリオ・ショウワオーケストラ団員を経て、現在神奈川フィルハーモニー管弦楽団契約団員。桐朋学園大学嘱託演奏員。



ゆ み こ ま り ー か わ い
サインポエム：Yumiko Mary Kawai

北海道札幌市出身。ミナデマリ所属(Mary)。フリーランスのろう俳優としても様々な舞台、テレビ、映画などに出演。2023年4月 めでみるコトバの住人としてSasa-Marieと2人組ユニット「てことば・てかなで・てあそびDuo メリマリ」で、サインポエトリー、サインミュージックを中心に子どもから大人まで、てとてあそび、非言語表現などの各種ワークショップを全国各地で意欲的に活動を広げている。